

## 参加費

一般早割 **¥ 4,000** (2日間)

- ・2020年1月31日中お申込み分まで有効。以降は¥5,000。
- ・2月15日のみの参加の場合は¥2,500になります。

学生・若者 **¥ 1,000** (2日間)

- ・若者区分は自己申告制となっております。若者であっても当活動をご支援いただける方は、一般料金を選択いただければ幸いです。その他、一般料金の難しい方はご相談ください。

ご希望の方はお申し込み時に選択してください

大会終了後に発行する報告集 ¥1,000

## お申し込み

### オンラインで申し込む

こちらのサイトからお申し込みください。  
クレジットカード、コンビニ、ATMでお支払ができます。



<https://jyc2020.peatix.com/>



### 電話・FAXで申し込む

必要事項をご連絡いただきましら、事務局より振り込み先等をご連絡しますので、参加費をお振込みください。

Tel 028-678-4745 Fax 028-678-4746

#### 必要事項

- 参加区分（一般 / 学生・若者）
- 参加希望分科会（1・2日目）
- 姓名  ご職業  メールアドレス
- 年齢  電話番号  ご住所
- 2日目の弁当（¥1,000）
- 大会終了後発行する報告集（¥1,000）

## 会場へのアクセス



## 協賛募集

当大会は、多くの皆さまからのご協賛によって支えられています。  
協賛いただいた個人・企業様につきましては、当日配布する冊子（約1,000部発行予定）にお名前や広告（企業協賛の場合）を掲載させていただきます。

5,000円、10,000円、20,000円、40,000円、  
80,000円（広告のサイズに違いがあります）

一口1000円からの個人協賛もあります。詳細は現地事務局までお問い合わせください。

## お問合せ

### 現地事務局

一般社団法人栃木県若年者支援機構  
〒320-0032 栃木県宇都宮市昭和2-7-5  
Tel 028-678-4745

### 全国事務局

一般社団法人若者協同実践全国フォーラム  
〒162-8644 東京都新宿区戸山1-24-1  
早稲田大学文学学術院 阿比留久美研究室気付  
Mail [info@jycforum.org](mailto:info@jycforum.org)

ホームページ・SNSもチェック！

<https://jycforum.org>



**第15回 全国若者・ひきこもり協同実践交流会 in とちぎ**

権利としての若者協同実践を目指して  
ともに学び、ともに育み、ともに創る、今ここで出会う私たち

2020 2/15(土) 2/16(日)

《会場》 作新学院大学  
宇都宮市竹下町 908

《参加費》  
早割 ¥4,000  
通常価格 ¥5,000  
学生・若者 ¥1,000

若者協同実践とは？

若者を「支援」を受ける客体としてではなく、社会をつくるいく主体として捉え、ともに生きやすい社会をつくりだすために、支援者・研究者・行政・市民・家族・そして若者が対等な関係で織りなす営みを若者協同実践と言います。

(主催)一般社団法人若者協同実践全国フォーラム 全国若者・ひきこもり協同実践交流会inとちぎ実行委員会  
(後援)栃木県、宇都宮市、栃木県教育委員会、宇都宮市教育委員会、栃木県社会福祉協議会

# 悩んで、ゆれて、それでもゆっくり歩いていくこう

不登校、ひきこもり、いじめ、そしてニート・・・当事者となる子どもや若者たちは、身の回りの人間関係や環境だけでなく、様々なことに影響され追い込まれていきます。第15回を迎える「全国若者・ひきこもり協同実践交流会」では、そういった個々に寄り添った視点から社会情勢までを見据えたマクロな視点までを踏まえ、これまで全国で蓄積されてきた支援ノウハウや当事者の声、そして未来を見据えた議論など、子ども・若者の支援に「いま必要とされる全て」を参加者と当事者のみなさんで共有します。「生きづらさ」は、決して当事者だけの問題ではありません。家族・支援者・行政・民間といった枠を超えて、一步一步「当事者とともにみんなで悩みながらゆっくり歩んでいく」、そんな会を作っていくませんか。

実行委員長 隣内 雄次



## Day1 2月15日(土) 12:30-20:00

### 13:00 ~ 15:05 基調報告・全体シンポジウム / 作新清原ホール

#### 権利としての 若者協同実践をめざして

自己責任の圧力が強い社会のなかでは、生きづらさを口にすることも難しく、支援を受けることのハードルも上がりがちです。それに対し、本来「あってあたりまえ」の権利として「若者協同実践」を位置づけていくために必要なことは何か、多様な角度から考えます。



### 15:30 ~ 18:00 課題別分科会・交流会 / 第3教育棟

#### 権利 自己責任を越えて若者を社会の担い手に —若者協同実践への道筋

若者が感じている困難は、社会的・構造的な課題でもあります。そういう若者にとっての展望の見えなさは、さまざまな権利が侵害されているといえる実態を示しています。こうした実情に照らして、今後求められる社会のあり方について考えます。

コーディネーター 佐藤 洋作 認定NPO法人文化学習協同ネットワーク/JYC共同代表  
スピーカー 松宮 敏郎 日本弁護士連合会  
宮本 みち子 放送大学/千葉大学名誉教授

#### 労協法 ないなら、つくろう！ 協同で働く自分たちの職場（仕事）

若者協同実践の「実践」には、「働く」が含まれていると思いますが、協同して働く姿をイメージできますか？企業利益のために使い捨てられる労働ではなく、働く人が主人公となって協同する働き方を探っていきます。

コーディネーター 利根川 徳 労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会  
小白井 加代子 労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会  
古村 伸宏 労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会/JYC共同代表  
ワーカーズコープ矢板・りんごの木/創造集団 440Hz

#### 10代会議 10代の私たちだからこそ できること、語れる未来

「若者は何を考えているの？」と言われた、思ったことがありませんか？ですが、20年後の未来をつくるのはその「若者」であることは事実です。若者はここで本音の議論を。大人はその本音に向き合ってみませんか？

コーディネーター 土橋 優平 NPO法人キーデザイン  
スピーカー 大河原 有佳 ふくしまフリンジ  
野澤 こなつ 不登校の今を大切にするing  
10代の実践者たち（調整中）

### 18:00 ~ 20:00 交流懇親会 / 学生会館

一日目終了後には、参加者の皆様で交流することができる懇親会を開催します。  
お好きな食べ物や飲み物を手にとっただけるマルシェ形式を予定しています。

## Day2

2月16日(日)  
9:30-17:30

9:30	実践別分科会Ⅰ(150分)
12:00	昼休憩
13:00	実践別分科会Ⅱ(120分)
15:00	分科会終了

15:15	おわりの集い
16:15	おわりの集い終了
16:30	後夜祭（検討中）
17:30	後夜祭終了

### 9:30 ~ 12:00 / 13:00 ~ 15:00 実践別分科会 / 第3教育棟

家族

#### 出口が見えない家族に向けて ～繋がることが明日への一歩

家族の孤立を防ぐためにどういったことができるのか。この分科会では「生活者」として家族を捉え、「問題」よりも「強み」に着目したソーシャルワークの活動に着目し、家族を支える社会のあり方を考えてみたいと思います。

コーディネーター 谷藤 久仁子 さくら市教育委員会SSW  
中川 健史 NPO法人仕事工房ボボロ  
スピーカー 土屋 佳子 日本社会事業大学准教授SSW  
荻津 守 栃木県済生会宇都宮病院地域連携課長MSW

働く

#### 働きたい職場ってどうつくる？

生産性向上ばかりが求められる現状において、若者を育て、ともに働き続けていくことができる職場とはどんな職場なのでしょうか。職場のあり方・働き方・仕事そのもののあり方など、いくつかの実践をもとに、改めて考えます。

コーディネーター 湯本 尊 とちぎ若者サポートステーション  
高橋 薫 認定NPO法人文化学習協同ネットワーク  
スピーカー 村本 富知里 NPO法人KIDOGS  
齋藤 幸一 有限会社アップライジング  
ワーカーズの現場から

地域

#### 若者と地域がともに変化する 地域づくりとは？

「若者と地域がともに変化する地域づくりとは？」と題して、実践に込められた思いや価値観、転機に触れながら、参加する皆様が交流し、もやもやしつつ、明るく展望できるような場をめざしています。

コーディネーター 温浅 雄偉 社会福祉法人一麦会  
スピーカー 伊熊 公一 とちぎ子どもの権利条約ネットワーク  
石川 光一 株式会社国際資源リサイクルセンター  
細井 隆義 一般社団法人栃木県若年者支援機構  
県内外の実践者（調整中）

居場所

#### 多様な居場所をどうつくり、 どう続ける？

外部の人には理解されづらい「若者の居場所」。それゆえ、「想い」だけでは維持・運営が難しいこともあります。この分科会では、多様な居場所をどのように作り、続けていけるのか、みんなで考えます。

コーディネーター 南出 吉祥 岐阜大学/JYCフォーラム  
スピーカー 菊地 修介 一般社団法人とちぎ青少年自立援助センター  
西野 博之 認定NPO法人フリースペースたまりば  
大屋 みはる NPO法人KOU

多様な学び

#### 市民による学校づくり ～多様な“学び”とは何か～

「多様な学び」には、単に困難な状況の子どもや若者への教育の支援をこえ、学習者中心の、自治や協同性を重視する実践が含まれています。この分科会では、それらの実践や実践を支える制度について議論します。

コーディネーター 稲葉 祐一郎 小山フリースクールおるたの家  
宇賀神 雄太 デモクラティックスクールつながるひろば  
松島 裕之 多様な学び保障法を実現する会/JYCフォーラム  
芳村 寿美子 高根沢町フリースペース「ひよこの家」  
スピーカー

障がい

#### 障がい者支援制度 ～使える？使ってる？～

障がいのある若者を支える様々な制度がありますが、それは実際どのように使われているのでしょうか？バリアをなくし、だれもが社会参加できる支援制度のあり方、現状と課題について議論したいと思います。

コーディネーター 江連 広士 カウンセリングルーム栃木ホットライン  
中塙 史行 NPO法人教育サポートセンターNIRE  
コメントーター 山本 耕平 立命館大学/JYCフォーラム共同代表  
スピーカー 調整中

行政

#### 自治体と民間団体の協同実践 ～共に“つくる”若者支援とは？～

若者の「生きづらさ」は、自治体だけでも、民間団体だけでも解決することはできません。自治体・民間団体双方の立場を理解した上で、両者が共にどう若者支援を推進していくべきかを参加者と共に考えます。

コーディネーター 小山 泰明 社会福祉法人立川市社会福祉協議会  
スピーカー 朝日 華子 茨城県・福島県SSW/NPO法人茨城県居場所研究会  
津布 久枝 佐野市役所 保健師

性的少數者

#### セクマイ・フレンドリーな居場所、 地方でどう増やす？

地方ではセクシャルマイノリティの若者たちが安心してつながり、関わる居場所が乏しいという課題があります。各地の実践や試行錯誤に学びながら、みんなでこれからやれることを探っていく作戦会議をしましょう。

コーディネーター 土橋 優平 NPO法人キーデザイン  
滝口 克典 よりみち文庫  
スピーカー 近野 直子 相談室 栃木こころの架け橋  
松井 愛 フリースペースぶらいうず/山形市議  
福島 秀治 レインボーハート富山

ピアサポート

#### 同じ悩みを持つ仲間で手を繋ぎ、 今できることを考える

本分科会では、若者支援分野におけるピアサポート実践の紹介を通して、ピアサポートの役割や価値、課題について参加型の意見交換します。手を繋ぎ、より豊かな活動を作り出す大きな一歩となればと考えます。

コーディネーター 野澤 かなえ カウンセリングルームとちぎねいろ  
辻岡 秀夫 NPO法人ゆうどうふ  
野澤 こなつ 不登校の今を大切にするing  
渡邊 厚司 とちぎセルフヘルプ情報支援センター  
奈良橋 修 生き×生きコミュニティ/県外の実践者（調整中）

住まい

#### 経験者から見た共同生活

今回は、住まいの支援のなかでも、特に「共同生活」に注目します。実際に若者として「共同生活」を体験した/している経験者の話をお聞きし、そこから「共同生活」の意味や課題について考えたいと思います。

コーディネーター 楠原 晋太郎 NPO法人栃木DARC  
岡部 茜 大谷大学  
ショウ NPO法人栃木DARC  
スピーカー 調整中

※内容は予告なく変更となる場合があります。



余暇文化

#### 生きるための余暇文化 ～「好きなこと」の価値と可能性

せわしない社会、自分の好きなことをしてはいけないような気になってしまふこともあります。余暇や文化は、人がはじめからもっている権利であり、生きることや社会の基盤になるもの。余暇文化を身体と言葉を通して考えていきませんか？

コーディネーター 三田 和子 とちぎ子どもの権利条約ネットワーク  
阿比留 久美 早稲田大学  
館野 智子 ちぎり絵夢ゆめ  
大河原 有佳 ふくしまフリンジ  
スピーカー 櫻井 龍太郎 生き方工房 necota